【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【公開番号】特開2014-79742(P2014-79742A)
【公開日】平成26年5月8日(2014.5.8)
【年通号数】公開・登録公報2014-023
【出願番号】特願2013-5949(P2013-5949)
【国際特許分類】
Ｂ０７Ｂ　13/10　(2006.01)
Ｂ０７Ｂ　13/11　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０７Ｂ　13/10　Ｚ
Ｂ０７Ｂ　13/11　Ａ
Ｂ０７Ｂ　13/11　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成28年1月12日(2016.1.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
周回走行する走行体を備えたコンベア装置と、前記走行体の外周面に向かってシート状と塊状の廃棄物が混合された固形物によって構成される被分別物を落下させる被分別物供給手段と、前記走行体の走行方向の位置及び勾配を変更可能に、前記コンベア装置を支持する変更装置とを具備する固形物の分別装置であって、前記走行体は無端ベルトで、前記被分別物が落下する側で走行方向先側に上り勾配となる傾斜姿勢で備えられており、前記走行体の外周面側が所定の弾性を有し、且つ、前記外周面は摩擦係数が大きくなるように粗面となっており、前記被分別物を前記走行体の外周面に落下させ、前記被分別物が前記走行体に衝突したとき、塊状の廃棄物は前記走行体から搬送されずに脱落して前記塊状の廃棄物の落下空間に落下し、シート状の廃棄物は前記走行体にそのまま載り滑り落ちることなく搬送されて前記走行体の走行方向先側の端より前記シート状の廃棄物の落下空間に落下することで分別が行われることを特徴とする固形物の分別装置。
【請求項２】
請求項１に記載した固形物の分別装置において、走行体は合成樹脂によって構成され、その内部には多数の気泡が形成されてスポンジ様になっていることを特徴とする固形物の分別装置。
【請求項３】
請求項１または２に記載した固形物の分別装置において、走行体の外周面に付着した被分別物を除去するクリーニング手段が設けられていることを特徴とする固形物の分別装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】

請求項１の発明は、周回走行する走行体を備えたコンベア装置と、前記走行体の外周面に向かってシート状と塊状の廃棄物が混合された固形物によって構成される被分別物を落下させる被分別物供給手段と、前記走行体の走行方向の位置及び勾配を変更可能に、前記コンベア装置を支持する変更装置とを具備する固形物の分別装置であって、前記走行体は無端ベルトで、前記被分別物が落下する側で走行方向先側に上り勾配となる傾斜姿勢で備えられており、前記走行体の外周面側が所定の弾性を有し、且つ、前記外周面は摩擦係数が大きくなるように粗面となっており、前記被分別物を前記走行体の外周面に落下させ、前記被分別物が前記走行体に衝突したとき、塊状の廃棄物は前記走行体から搬送されずに脱落して前記塊状の廃棄物の落下空間に落下し、シート状の廃棄物は前記走行体にそのまま載り滑り落ちることなく搬送されて前記走行体の走行方向先側の端より前記シート状の廃棄物の落下空間に落下することで分別が行われることを特徴とする固形物の分別装置である。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項２の発明は、請求項１に記載した固形物の分別装置において、走行体は合成樹脂によって構成され、その内部には多数の気泡が形成されてスポンジ様になっていることを特徴とする固形物の分別装置である。

【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】削除

【補正の内容】
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
請求項３の発明は、請求項１または２に記載した固形物の分別装置において、走行体の外周面に付着した被分別物を除去するクリーニング手段が設けられていることを特徴とする固形物の分別装置である。